



## 夏もいらっしやい

遠賀川保育園夕涼み会にて

### 6月定例議会の案件

P 2

- ◇町長施政方針・教育委員会教育施策
- ◇補正予算・条例・専決

一般質問 ～4人の議員が町政を問う！～

P 6

研修レポート

P10

追跡 まちの展開図

P11

# “木村町政再発進”

# ～今後の本町の方向性を見据えて～ 議会審議活発に！！

## 町長施政方針

本町は、自立した自治体としてのまちづくりを進めるため、第4次遠賀町総合計画後期基本計画や遠賀町自立推進計画に基づいた行財政の健全・効率化を図り、住民に安定した行政サービスの提供を図ることが課題となっている。本町の特徴を活かしながら、厳しい財政状況から脱却し、足腰の強い経済基盤を築くため、広域利便性の向上・自動車産業との連携・安全安心のまちづくりをまい進し、遠賀町の将来像である豊かな故郷をめざしていきたい。

## 都市基盤の整備

JR遠賀川駅周辺の交通結節機能の向上として、南北自由通路や駅南広場を含む駅南線の整備を進め、これと併行して老良・上別府線の東西両方向の整備を推進し、幹線道路沿道地区など民間開発誘導に努めるとともに、駅南地区のまちづくりの方向性を検討していく。他に、河川・水路並びに幹線道路等についても、継続して整備や補修、国・県に対して働きかけを行う。

## 生活環境の整備

下水道については整備を推進し、平成20年度より随時JR鹿児島本線北側地域においても供用開始される。

## 教育委員会教育施策

### 基本目標

- I 社会の発展に寄与し得る創造性や個性に富む町民の育成
  - II 真理と正義を愛し、基本的人権と豊かな人間性を重んじる町民の育成
  - III 文化と伝統を尊重し、人類の平和と繁栄に貢献し、郷土に誇りを持つ町民の育成
  - IV 豊かな感性とたくましく生きるための健康や体力に満ちた町民の育成
- 以上のことを掲げ、教育行政を町民の理解と協力を得て推進していく



ごみ処理については、管内可燃ごみ20%減量計画に基づき積極的にリサイクルに取り組む。

他に、災害時の救済支援体制や日頃の地域安全に取り組む。

## 福祉のまちづくり



児童福祉については平成20年4月から病児回復期や病後の児童の保育事業に取組む。高齢者福祉については健康づくり事業や介護予防事業・訪問事業に積極的に取り組む。障害者福祉についてはサービスの提供や地域生活支援事業を円滑に推進できるように努める。

## 生涯学習の推進

遠賀町中央公民館の住民学習ニーズに対応した利用計画案を策定し、それに基づきリニューアル工事を進めていく。また、あらゆる



遠賀町中央公民館



世代に様々な学習機会の提供とその学習活動を支援し、いつでも・どこでも・だれもが学習できる環境の整備に努める。

## 産業の振興

農業については、今後も農業委員会、認定・志向農業者連絡協議会、JA並びに関係機関と連携を図り担い手の育成・確保および各地域における集落営農組織の合意形成を図る。

自動車産業の支援拠点として、駅南地区の開発などを視野に入れた交通利便性をPRし県と連携を取っていく。

## 開かれたまちづくり

広報・公聴活動については、広報おんがの紙面づくりの充実やホームページの機能充実に取り組み。

財政運営については、歳入重視から歳入重視の施策へ展開し、健全な財政運営に努めるとともに効率化を図っていく。



## 教育施策の6つの柱

- 1 確かな学力をはぐくみ個性や能力を伸ばす学校教育の充実
  - ① 確かな学力向上のための取組み推進
  - ② 個性や能力を伸ばす教育の充実
  - ③ 社会の変化に対応する教育の充実
  - ④ 特別支援教育の充実
  - ⑤ 教育のプロとしての教員の資質の向上
  - ⑥ 安心して学べる教育環境の充実
  - ⑦ 地域に開かれた学校づくりの推進
- 2 豊かな人間性や志を持ってたくましく生きる力を培う教育の推進
  - ① 心の教育の充実
  - ② 健やかな身体を育む健康教育、食育の推進
  - ③ 家庭、地域の教育力を高める支援体制の充実
- 3 豊かな人生と未来を拓く生涯学習社会の実現
- 4 文化活動の振興と文化資産の保存・活用
- 5 スポーツ・レクリエーション活動の充実
- 6 人権尊重の精神を育成する教育の推進
  - ① 学校教育、社会教育における人権・同和教育の推進・支援



## 町長・教育長質疑

町長施政方針並びに教育委員会教育施策について、各議員が質疑を行い答弁を求めました。

今後の厳しい行財政運営ならびに年々変化する教育情勢の中、町民の皆様が代弁者として、活発且つ熱い思いで各議員が質疑を行い、町長ならびに教育長の考えや取組みについてしっかりと答弁を求めました。

議会は、町行政のチェック機関であり、これらの質疑は今後の本町にとって大変重要なことであるからです。

議会議員一同、町行政とともに、町民の皆様方のために考え取組んでいます。

# 施政方針のよとの政策的・一般会計補正予算

## 【政策的・一般会計補正予算の概要】

本議会の平成19年度一般会計補正予算は、木村町政の政策的予算のため、議会議員全員で構成する予算特別委員会を設置し、取組みや考え、内容を質疑や確認を行いながら慎重審議し、可決しました。

### (主なもの)

#### \*防災行政無線放送設備

《事業内容》災害時の自主避難・避難勧告の一斉通信など、迅速な救援支援をとるため無線放送を設置する。  
《予算額》1億242万円

#### \*街灯設置委託料

《事業内容》庁舎東側(西川西岸)の歩道整備が完了し夜間照明がないため街灯を設置する。  
《予算額》20万円



#### \*「65歳の健康講座」

《事業内容》聖人式を取り止め65歳の健康講座に変更する。(新規事業)  
《予算額》42万円

#### \*病中・病後児保育施設整備補助金

《事業内容》病中・病後児保育事業を平成20年4月より行うための施設整備を行う  
《予算額》1652万円  
(一市四町の合計金額)

#### \*学校施設耐震化調査業務委託料

《事業内容》県教委の依頼により小・中学校の耐震化調査を行う。(二次的)  
《予算額》217万円



### (継続事業)

#### \*駅南地区調査・設計・工事・用地取得

(交通結節点・駅南線・南北自由通路・駅南広場)  
《事業内容》駅南地区の整備を進めるため継続して事業を行う。  
《予算額》1億2875万円

#### \*ファームガーデンニング事業補助金

《予算額》680万円

#### \*健康福祉まつり

《予算額》104万円



#### \*観月コンサート開催費

《予算額》32万円

#### \*住民参加型イベント補助金

《予算額》70万円

#### \*スポレクおんが補助金

《予算額》80万円



# 一般会計補正予算(第2号)

\*退職勧奨による退職者退職金

《事業内容》今年度より、希望者について適用する  
《予算額》1961万円

## 条例

\*町税条例の一部改正

①法人課税信託の改正

②高齢者等居住改修の個人住民税の特例の申告書類の改正

③鉄軌道用地価格の固定資産課税の特例改正

④保険料に係る個人町民税の課税の特例改正

\*町国民健康保険条例の一部改正

基礎額改正 「53万円」↓「56万円」

## 選任

\*副町長(任期4年)

原田 正武(再任)

遠賀郡遠賀町大字広渡1236番地の2

\*固定資産評価審査委員会委員(任期3年)

門元 雅巳

北九州市小倉南区田原2丁目3番26号

阿部 哲茂

北九州市小倉北区金田2丁目18-1406号

山下美和子

遠賀郡遠賀町広渡一丁目13番1号

## 認定

\*町道路線

駅南線、駅南3号線

駅南地区整備に伴う道路構築のため認定を行う

# 委員会レポート

## 第一常任委員会 学校訪問視察調査報告

平成19年7月9日(月)第一常任委員会の所管事項調査として、全小・中学校と学校給食センターを視察した。各学校等の概要については以下のとおりです。

### 広渡小学校

教師に対して 責任感・使命感をもつこと、大人として人間としての基礎知識を徹底することを課題にしている。地域交流 保護者、家庭・地域と一体となった行事に取組んでいく。

### 島門小学校

経営方針 学校評価を活用した教職員の自己評価を行い、教師一人一人の実践的な指導力の向上に努めている。保育園・幼稚園との連携現状を見ながら、お互いに子どもたちの成長・教育を深めて行く。

PTAと連携して 50%の子どもたちが一日3時間以上テレビ、ゲームに使用している。家庭での勉強時間が減少しているため、今後対策に取組んでいく。

### 浅木小学校

個人カルの活用 学年に応じた学力がついているかどうか単元ごとにチェックし、どの分野が苦手なのかつまづき箇所を克服する。苦手な分野を夏休みに補充する。ソーラン踊り 体育館で練習風景を

見、躍動感、若さあふれる踊りで感動した。今後も続けていきたい。

### 遠賀中学校

いじめ問題 アンケート調査では、暴力ではないが、ひやかし・からかい等をいじめと感じている生徒がいる。生徒の服装 生徒と教師が対立しないよう、人間関係を優先したうえで、服装の乱れを直して行く。

### 遠賀南中学校

確かな学力向上 数学、英語習熟度による授業をし、学力向上につながっている。

体育祭で 地域から6チームが出場した職場対抗リレーは大変活気がありよかった。今後も続けていきたい。

### 学校給食センター

食物アレルギーのある子供については全て把握し、対応していた。栄養士によるカロリー計算のもと栄養バランスの取れた給食である。今後も衛生管理に十分気を配り事故のないよう安価で安全で安心して食することができるように願う。





かた だ しげる  
堅田 繁 議員

Q 就学前まで、  
通院費を無料にするべきだ。

A 子育て支援は必要だが、  
現在その考えはない。



子育て支援策の充実

**議員** 少子化の進行を受け、子どもたちが健やかに生まれ、育成され、保護者の負担軽減を図るため、乳幼児医療費の通院費助成対象を、現在の5歳未満児から小学校に入学する就学前まで引き上げる考えはないか。

**町長** 現在はその考えはないが、子育て支援は必要だ。遠賀町は他の自治体より先駆けて、平成16年4月から町独自の事業として、3歳未満児から5歳未満児の通院費を無料としてきた。

国や県の制度を充実させるように、働きかけていきたい。

**議員** 就学前まで無料にするための費用はいくらかかるのか。

**課長** 平成18年度の実績だと、5歳未満児の医療費総額は約804万円。対象人数はほとんど変わらないので、その2倍の16

00万円かかる。  
**議員** その認識は違う。

就学前（小学校に入学するまで）。要するに、6歳になっても入学したら、助成対象ではなくなるのだから、単純に2倍しては試算を誤る。対象人数を精査して、\*試算をするべきだ。

**町長** 誕生月で計算すればそれはできる。

**議員** 福岡県の乳幼児医療制度をもっと充実させるべきだ。

**町長** 医療の問題も含めて、これは県がやるべきこと。県には会議や協議を通じて、十分に話をしているし、要望も伝えている。

インフルエンザの予防接種に料金の助成をするべきだ

**議員** 一回予防接種する料金はいくらかかるのか。

**課長** 4,292円です。  
**議員** 14歳以下の児童・

生徒は抗体が持続しないため、二回接種しなければならぬ。保護者の負担軽減のためにも、せめて、一回接種につき1,000円でも助成できないか。

**町長** あくまでも予防接種は任意なので、助成は考えていない。基本は親が責任をもって子育てをするべきだ。町として本来支援するところは他にもある。

\*印の試算額は、560万円であることが、担当課長から報告された。





# ボランティアの活動状況を 広く町民に知らせるべきだ



ひらみ こうじ  
平見 光司 議員



町長部局と十分  
検討させていただきたい



ボランティア活動への支援は

**議員** 生涯学習のまちづくり事業のなかで、住民の自主活動促進のためにどのような事業を実施したか。

**教育長** 教育委員会では町主催の地域安全パトロール事業や町並みクリーン作戦事業を実施している。ボランティアの参加を広報誌などで住民に呼びかけている。

**議員** 地域コミュニティの再構築として、行政区活動の活性化とあるが、どのようなことをしたのか。

**教育長** 行政区ではないが3つの小学校に見守り隊を結成し、活動している。また、アンビシャス運動は現在3区にとどまっている。清掃活動を呼びかけ、行っている行政区もある。

**議員** 地域の実情や課題に応じて取組み内容が違う。防犯・防災活動、青

少年育成活動 環境保護・地域美化運動、保健福祉活動、一人暮らしの高齢者の声かけ、子どもの見守り隊、色々と各地区で取組んでいる。行政区の活動として活性化を図るためには、その活動状況、事例報告を紙面で行うべきである。そうすることでボランティア活動が広がってくるのではないかと検討していきたい。

**議員** 少子高齢化・核家族化などにより、子育て環境が大きく変わってきている中で、スポーツ少年団は青少年の健全育成に大きく寄与しているのではないかと。

スポーツ少年団について

**議員** 学校の体育以外で体力づくりに伴って精神面の育成もやるべきで、非常に大切な活動だと認識している。

**議員** ボランティアとして、剣道、柔道、バレーボール、ソフトボール、サッカー、空手など指導されている方々こそ真の教育者といってよいのではないかと。是非とも顕彰制度を設けて、スポーツ功労者表彰という形で広く公表する必要がある。

**議員** 頑張っておられる方を多くの方の前で激励を込めて表彰することは意義がある。体育協会と話し合って検討して行きたい。

**議員** 指導者の情熱、ご苦労に対して心から敬意を表し、感謝を申し上げます。本町においてボランティア活動がなお一層盛んになることを期待する。





みやさこ たかし 議員  
宮迫 高志

# Q 公共工事の発注、指名業者の資格審査に透明性はあるのか

## A 業者のランク付けを行い、談合防止策を施し透明性を出していく



公共工事発注の透明性は

**議員** 工事予定価格の公表は行うのか。

**町長** 事前公表は行っていない。入札執行後、速やかに公表している。

**議員** 官制談合、民制談合等も含め、談合防止のため、事前公表は透明性がある。

**町長** 以前には無かった事後公表等を行い透明性をだしていく。

**議員** 最低入札価格の設定は行うのか。

**町長** 本年度より設計価格一千万円以上の建設工事のみ設定できるようにした。

**議員** 最低制限価格の価格基準がないが、決定方法はどのようにするのか

**町長** 行政側で決定し、工事毎に設定する、しないを決めていく。

**議員** 最低制限価格の決定について議会承認は必要ではないか。

**町長** 議決を求める案件

として議会に公表し承認を受けてしか施行できない場合、議会最終日までの間に情報漏洩等の問題もあるため十分協議していく。

**議員** 工事価格により、一般競争入札と指名競争入札の区別を行うのか。

**町長** 工事価格による区別はしていない。現状は指名競争入札で入札執行を行っている。

**議員** 指名業者選定の基準及び方法はどのようにしているのか。

**町長** 指名基準を公表している。基準により資格審査数値の点数によりランク区分をしている。指名業者審査委員会を開催して指名基準により指名業者、指名業者数を決定している。

**議員** 指名基準の中に発注工事の工事評点は反映されているのか。

**副町長** 県の経営審査事項によるランク付けではないが今後、評点審査等

を取り入れていくよう検討していく。

**議員** 工事価格によりランク毎に2社・3社ベンチャーを組ませたり、大型工事については土木、建築、電気・機械設備についてもベンチャーを組ませたりする行政指導を行うつもりはあるのか。

**副町長** 現状では困難である。大型工事が本町では少なく、今後出てくるものは駅南、もしくは大型施設の建替、改修工事である。その時はベンチャーを組む事になる。

**議員** 駅南開発に伴って大型工事が発注されることとが推測される。今後は商工会が窓口となり各組合が受注して、町内業者の育成を行う事を十分に考慮すべきである。

\*この他にも、幼稚園、保育園について質問を行った。

図



# 駅南整備事業はどのような構想のもとで推進していくのか



はまおか みねさと  
浜岡 峯達 議員



まちづくり大綱の推進が本町発展の原動力であり、持続的発展可能な社会を形成するための施策である



## 事業の全体構想は

**議員** 整備事業を進める上でどのような構想のもとに全体像が策定されたのか。

**町長** 遠賀郡地域の都市化及び筑豊地域の玄関口として駅南地区の東西南北の基幹施設となる老良く上別府線、駅南線、自由通路及び駅南3号線の整備を行政が施行し、民間開発を促すべく駅南開発事業としている。平成19年度には事業推進の力を握る民間開発を促進するために都市計画マスタープランと用途地域の見直しをする。

**議員** 整備事業の全体の投資額と本町の負担すべき投資額は。

**町長** 総事業費は概ね20億3千万円、そのうち国費が約11億1千600万円、町費が9億1千400万円。内訳として、起債が8億6千800万円、うち2億6千万円は交付金で返つ

てくると考えている。

**議員** 既に一部において事業が着手されているが、年度ごとの工程表はどのようなになっているのか。

**町長** 17年度から概略設計、18年度、測量試験及び実施設計、一部の用地買収、19年度についてもそういうふうな形で進め、24年で事業を終わりたい。そして、事業効果を発揮させたいと考えている。

投資効果はどのように予測されているか

**議員** 事業の投資効果はいつごろからあらわれると予測されているか。

**町長** まずでき上がったということになるかと思うが、農地から宅地への転用等々が行われれば、逆に固定資産の評価が高くなり、固定資産税が上がってくると思う。

**議員** 今回マスタープランをつくるということだ

が、その中では実現性のある数字を示してもらいたい。

**町長** 実現性がなかったから、今地方分権に耐えられない町になっている。だから、実現性を持って、いかにないと、まちづくりはできないと、判断をしているので、不転転の気持ちで取り組んでいきたい。

**議員** せっかくだけつくり直すのであるならば、今までできなかったことの反省に立って、今度はできる方向で、町の持ち出しを減らしてやってもらいたい。

一般質問の詳細については、遠賀町ホームページ「ようこそ議会へ」に議事録を掲載していますので、ご参照ください



# 研修レポート

## 議会議員研修 広域施設等の視察

### 《視察場所》

し尿処理場、遠賀・中間リレーセンター、リサイクルプラザ（遠賀・中間地域広域行政事務組合）  
遠賀川工事事務所河口堰出張所、遠賀川山田川引入口花の木堰（国土交通省）遠賀川下流域下水道（（財）福岡県下水道公社遠賀川下流浄化センター）  
中間市西部浄水場（中間市上下水道局）  
新日鉄大隈導水堰神田川用水路引入口

7月2日、上記の施設等の視察を行いました。当日は大雨の中、遠賀川の増水状況や下流へ流れるごみの多さを目の当たりにしました。

「遠賀・中間リレーセンター」では、ごみが北九州市の清掃工場へ運ばれる前の中間処理について、また「中間・遠賀リサイクルプラザ」では、プラスチック製容器包装類を効率よく、圧縮・梱包するシステムを視察しましたが、施設内にうず高く積まれたペットボトルの山を見て「分別ルールの周知」のむずかしさを痛感しました。

また、今後の町財政を圧迫することが予想されるごみ処理費を軽減するために4つのR・

- REFUSE（リフューズ）・・・いりませんと断ること
- REDUCE（リデュース）・・・減らす努力をすること
- REUSE（リユース）・・・元の形のままで何度も大事に使うこと
- RECYCLE（リサイクル）・・・形を変えて再利用すること



圧縮されたアルミ缶

をしっかりと心にとどめ、実践することの大切さを感じました。

※飲料・酒類・しょうゆのペットボトルはプラスチック容器包装指定袋では出せません。別々にリサイクルするように定められています。

## 町村議会議員研修会

7月10日福岡県自治会館（大会議室）にて新人議員研修会に参加しました。県内の町村議会より、百数十名の新人議員が一堂に会し研修を受けました。どの顔も年齢に関わらず、はつらつと見えるのは私の気持ちのせいでしょうか？



研修の様子

今回の演題は「地方議会制度と運営の基本」です。議員必携の内容と照らし合わせながらの研修が始まりました。議会の持っている権限、会議の諸原則、本会議運営の基本、常任委員会運営の基本、特別委員会運営の基本について約4時間の研修会でした。

遠賀町議会議員としての任期4年間で有意義にまた、納得いくように全うするための自分たちに対する一つの節目となりました。

参加議員 萩本悦子、古野修、宮迫高志

# 追跡

## まちの展開図

### 質問

**駅南側の開発は  
今後どうなる！**

(平成15年6月・平成16年3月議会での一般質問)

**町長** 地権者との協議を重ね、用地買収も進んでいる。都市開発推進室を新設し、遠賀町の人口増計画に着手し、公共交通機関に接した、福岡・北九州への利便性を活かして定住促進住宅の開発で、人口定着者を図りたい。

**現在** 都市計画マスタープラン策定へ平成19年6月議会では、駅南側の広場道路、駅南線・駅南3号線を町道路線に認定した。これから国の補助金を確保するためのまちづくり計画をたてる。道路整備に伴う、用地買収・測量設計の費用、約1億2千万円も議会で承認された。

### 質問

**許せない！  
西川・戸切川下流域の  
プレジャーボートの不法係留**

(平成15年12月議会での一般質問)

**町長** 河川の管理は国土交通省の管理となるため、町独自の対応は難しい。国土交通省に対策を働きかけるとともに、芦屋町と連携しながらボート係留場所を確保するなど対応を講じていきたい。



**現在** 効果的な対策が見つからない。

ボートの不法係留台数が年々増加傾向にある。監視の目を光らせることと、所有者の明確化ならびに意識の啓蒙につとめるなど工夫をこらした対策を検討したい。



ボートのまわりにたまったゴミ

# 残暑お見舞い申し上げます。

遠賀町議会議員一同

わがまちの

## 伝統文化

〜守り継がれる地域行事〜

### ■さなぶり

「済民草書」に「早苗下りといふて田の植へ終わりを祝う。俗に誤つてさなぶりといふ他」とある。田植えが終わった時、地域の長は「さなぶり」を皆に通知し、洗った苗と御酒を田の神にささげて豊作を祈った。



### ●夏越祭

本町のなかでも、浅木神社では、毎年7月30日、芽の輪を三度くぐつて罪・穢れ祓い・悪疫・はやり病が蔓延する夏の季節を無事過ごせるようにとの願い

から、輪超しを行つてい。芽の輪は蛇を形どつたものといわれ、芽を身につけていると受難を免れるというので輪くぐりのあと、芽を一本宛持ち帰り門口にさしている。このように夏越は身の不浄を祓い、災いを防ぐため大祓いが行われ、民間行事としては、祓いよりも禊の要素がつよいともいわれ、昔は牛馬を川で一日遊ば

せるといのが一般的な風習であったようであるが、これは人間の禊祓いが家畜にまで及んだ風習だと考えられている。

### ■地域人の願い

今日、遠賀町の昔話や伝統行事を語り継ぐ人が少なくなり、寂しい限りです。先代が地域の誇りある伝統文化を、大切に守られた事に私達は感謝し、後世に引き継いで行くために、幼児からお年寄りの多くの人達に行事の参加を呼びかけ、伝統を育てることこそ、今後、町や地域づくりの活性化の源となるのではないかと、伝えていきたいと思ひます。

柳井博幸



## 今月の題字

遠賀中学校（3年生）  
山本 理沙さん



今回表紙の題字を応募してくれた  
遠賀中学校の皆さん

## 編集後記

梅雨明けとともに陽射しの強い真夏が到来し、外では夏休みになった子ども達が元気よく遊んでいる光景を所々で見かけるようになった。

先日、私も小学生の息子二人（中学生の息子には断られる）とクワガタ虫を捕りに行った。毎年この時期になると息子たちと一緒に早朝行つた恒例行事となつてい。

現地に到着すると各々に決められた配置につく。準備が整い「せーの」で木を蹴る。そして、落ちてくるクワガタ虫を探すのである。ふと気がつくと、私自身が一番必死になり、一時の事だが幼少期にタイムスリップした気持ちと状況になつてい。

最近、クワガタ虫捕りをする子ども達をなかなか見かけなくなつた。自然豊かな遠賀町がまだまだあることを次世代へ引継いでいくことも必要ではないかと最近よく思う。ゲームなどの遊びも良いが、外で汗をかき、自然でたくましく育つ環境も十分活用すべきではなからうか。

三原 光広



## 広報調査特別委員会

議長 濱之上喜郎  
委員 長 舛添 清美  
副委員長 三原 光広  
委員 堅田 光繁  
平見 光司  
萩本 悦子  
宮迫 高志

議会だよりに関するご意見ご感想お待ちしております。

遠賀町議会事務局 TEL 293-1235

e-mail: gikajimukyoku@town.onga.lg.jp